

所属	氏名	研究分野	活動	地域	参加単位	活動時期	詳細
法学部	阪井和男	情報学、社会生態学、情報組織論、学習分析論、場の言語学、死生学	活動	岩手県大船渡市	専門ゼミ、および、法学部自由講座において、東北再生支援をテーマに学生と活動。特定課題研究ユニット社会イノベーション・デザイン研究所、および、文明とマネジメント研究所、サービス創新研究所の研究テーマとして実施。	2011年～	被災地において、中高生への学習支援、夏祭り実施支援、その他、各種活動支援を定常的に行っています。
				山形県山形市	教員個人で実施	2013年～	現地の小中高生の創造性開発のためのワークショップの企画・実施と能力開発の測定・理論化等を行っています。
			学外委員	2013年～ 東北芸術工科大学創造性開発研究センター共同研究員 2013年～ 一般社団法人日本経営イノベーション協会ネクストワールド・サミット審査委員長 2012年～ 特定非営利活動法人防災・市民メディア推進協議会理事 2011年～ 特定非営利活動法人日本地域活性化力創出機構評議員 2011年 財団法人神奈川県動物愛護協会評議員選定委員会委員 2010年 奈良県吉野郡黒滝村総務省ユビキタスタウン事業情報ステーション構築事業地域協議会委員 2009年 高知大学環境人材育成のための社会協働教育プログラムの開発におけるアドバイザー 2006年～ 特定非営利活動法人実務能力認定機構理事			
商学部	西山春文	日本文学	活動	東京都千代田区	ゼミナールでの活動	4年生の希望によって取り組み	千代田区をテーマとした俳句制作とその集大成としての合同句集またはカレンダー制作
			学外委員				
商学部	山下洋史	経営工学・情報管理理論・人的資源管理理論・地域活性化論・統計的方法論・経営モデル論	活動	東京都台東区、鳥取大学・鳥取市	授業科目「商学部特別テーマ実践科目C:国際浅草学」でのフィールドワーク「国際浅草学」プロジェクトでの調査・研究	2012年度までの4年間毎年実施してきた。	東京都台東区と、下町の地域活性化のための「国際浅草学」プロジェクトを展開し、その成果を教育に還元すべく、商学部で上記の実践科目を開講した。また、「これが商学部シリーズ第2巻ー社会に飛び出す学生たちー」(同文館)の中で研究・教育の成果を掲載した。さらに、浅草の地域活性化に関する研究を日本経営システム学会全国大会や明大商学論叢において公表した。
				鳥取大学・鳥取市との連携	鳥取大学と明治大学の大学間連携に基づく鳥取大学での連携講座	過去4年間毎年実施している。	鳥取大学の大学院と学部の正規授業(オムニバス形式で年3コマ程度)および公開講座を実施しており、2014年度も継続することになっている。また、鳥取の地域活性化の研究を展開し、その成果を「鳥取ー一番学」として「これが商学部シリーズ第2巻ー社会に飛び出す学生たちー」(同文館)に掲載した。
			学外委員	2008年度～2013年度 墨田区男女共同参画推進委員会会長			
商学部	藤井秀登	交通・観光の社会経済学的研究	活動	群馬県邑楽郡大泉町	ゼミ	2011年～現在	1. 年に1回開催される、サンパカルナバル運営企画提案、明大ブース運営、アンケート調査を町役場・観光協会と連携で実施。2. 群馬県のキャラクター「ぐんまちゃん」の大泉町バージョンを4種類作成。今年度中に明大コンビニ(駿河台・和泉・中野・生田店)でミニ・カップラーメンの表紙にそのイラストを印刷して、販売予定。他にストラップやキーホルダーも作成。3. 2013年はフェスタ・ドゥ・ブラジルのイベントにてゼミ生が役場・観光協会と連携して、明大ブースを運営。4. 2012年に「めいじろう」の大泉町バージョンを作成。イベントで使用後、町役場・観光協会に寄贈。
			学外委員				
商学部	熊澤喜章	中小企業論	活動	神奈川県三浦市	商学部熊澤ゼミナールでの活動	年間を通しての営業で2013年度で8年間の営業実績	千代田区鍛冶町2丁目三浦市のアンテナショップ「なごみま鮮果」を運営
			学外委員				
商学部	浅賀宏昭	生命科学およびバイオテクノロジー	活動	東京都足立区立伊興小学校PTAとの連携	教員個人で調査	同校PTAとの話合いで実施(不定期)	講演をPTA対象に行い、その内容に関連したアンケート調査を実施。昨年のテーマは「植物工場」であった。
			学外委員				

所属	氏名	研究分野	活動	地域	参加単位	活動時期	詳細
商学部	小川智由	ロジスティクスとマーケティングのインターフェース	活動	東京都千代田区民生活部	ゼミナールでの授業時間外の自主活動として実施	2006年～現在	2006年から8年間、千代田区消費生活支援事業の推進及び千代田区商店街の活性化を図るため、応援冊子Qooran、EnjointならびにChiyomoを年に1回作成し、無料配布してきた。応援冊子の内容として、消費生活支援事業、商店街の中の特徴的な店舗の情報だけでなく、様々な角度から千代田区の魅力を捉え紹介している。
				長野県飯田市、NPO法人FOP	ゼミナールでのフィールドワークならびに合宿	2008年～2010年	明治大学リバティアカデミーの、長野県飯田市での受講生が母体になって設立した、地域活性化のためのNPO法人FOPと連携して、地元の農業振興、観光開発とフェスティバル開催、南信州ブランド構築などの活動を実施するとともに、飯田市長に地域開発の提言を行った。
				一般社団法人淡路エリアマネジメント(ワテラス、東京都千代田区)	ゼミナールとしての研究・実践活動	2012年～2013年	千代田区淡路町2丁目の再開発事業として建設されたワテラスを中心にした、地域と学生の連携を図りそれを強化するための活動の、企画実施とその支援。
			学外委員				
商学部	李英美	韓日法制史	活動	東京都豊島区			明治大学海外協定校の一つである韓国ソガン大学の学生15名と明治大学商学部生3名を引率し、池袋防災館における防災教育の基本コース(2時間)を体験した。韓国の学生たちに防災に対する関心を高め、かつ災害時の国際協力の精神を育むため、2011年3月の東日本大震災の実際の映像観賞や震度の初体験など、関係者の協力を得て日本の防災システムや各種防災訓練などについて学んだ。
			学外委員				
政治経済学部	中川雄一郎	協同組合および社会的企業 日欧社会的企業比較研究	活動	福島県相馬市 相馬はらがま朝市クラブ	本学の特定課題ユニットの「日欧社会的企業比較研究センター」のメンバーが参加する。	2014年～2016年	連絡先: 福島県相馬市中村字塚田のNPO法人「相馬はらがま朝市クラブ」 活動内容: 朝市クラブの第三者評価
			学外委員		本学の特定課題ユニット「日欧社会的企業比較研究センター」は、相馬市で社会的企業として震災復興を担っている「相馬はらがま朝市クラブ」の第三者評価を今回初めて依頼された。この3月10～12日にわたり、評価のための調査を実施する。なお、この第三者評価には、協同総合研究所(日本労働者協同組合連合会)も参加し、本研究センターと協同総研との共同で第三者評価を行う。		

所属	氏名	研究分野	活動	地域	参加単位	活動時期	詳細
政治経済学部	穴田義孝	ことわざ社会心理学	活動	全都道府県、市区町村	「NPO法人 郷土のことわざネットワーク・ことネット」		<p>本NPO法人は次のような事業を計画、実施し、社会貢献をしたいと考えます。</p> <p>第1に、「情報化社会の発展、社会教育の推進を図る活動」として、この法人は現代の情報社会におけるツールを活用して、各地の図書館や郷土資料館などに埋もれている『小さな地域の風土記』と比喩できる文献(著作)や、公にされていない自費出版の文献などを発掘し、本NPO法人をキーステーションとしてそれらを集合して、「<郷土のことわざ>地域別・全国一覧表」の補充・完成を目指し、事例の整理・分析をすることにした。</p> <p>第2に、「農山漁村又は中山間地域の振興、環境の保全を図る活動」、さらに「学術・文化の振興を図る活動」として、未だに文字化されていない各地の<郷土のことわざ>の聞き取り調査法によるフィールド・ワークを実施して、<郷土のことわざ>の「蒐集、文字化、記録(記述)化」する運動を展開したい。この場合、NPO法人の構成員みずからがフィールド・ワークをする場合もあり得るが、各地域の方言をはじめ、独特の生活の知恵などについては当該地域の人々にしか分からないこと、できないことが多いので、主に地元の有志による調査のサポートを主な事業とした。</p> <p><郷土のことわざ>にみる地域の生活文化を彷彿とさせる『小さな地域のことわざ風土記』の編纂、その出版にまで至れば「地元経済活動の活性化を図る活動」ともなり得る。また、この事業を通して、地域の独特の生活の知恵の発掘から現代社会全体の活性化、青少年の健全育成や地域の社会教育の推進、地域の振興の手助けをしたい。</p> <p>第3に、「社会教育の推進を図る活動」、「地域安全活動」、「人権の擁護又は平和の推進を図る活動」として、伝承者を特定して聞き取り調査により<郷土のことわざ>を聞き出す方法だけではなく、地元の老人会員や婦人会員の方々に、地域の会館などに日時や場所を定めて集合していただき、数人の少グループ分けをして、グループで話し合いながら<郷土のことわざ>にみる地域の生活文化を引き出すべく、生活体験や逸話、地域の歴史や産業、生業、年中行事などに関連した解説を「地元で使用していることば」で記録(記述)していく方法がある。筆者の体験では、時間がかかるが有効な方法と言える。</p> <p>第4に、「保健、医療又は福祉の増進を図る活動」として、各地の老人ホームなどにおいてディサービスに参加して、第3の方法などを駆使して<郷土のことわざ>を蒐集したり、高齢者と懇談することなどが可能である。さらに、創作ことわざの可能性を追究して「<郷土のことわざ>いろはうた(仮称)」などを創っていただく活動なども実施したい。「ことわざの歌」、「ことわざ体操」、「ことわざクイズ」などの企画も用意できる。</p> <p>第5に、「子どもの健全育成を図る活動」として、小学校や中学校、あるいは高等学校や短大、各地の子ども会、青年会、婦人会などと共に「高齢者から昔話やことわざを聞く」、あるいは本法人による講演や懇談会、「<郷土のことわざ>いろはうた(仮称)」創りというような教育活動により、地元の方以外に編纂しようもない『郷土のことわざ集』、さらにグレードアップしての『小さな地域のことわざ風土記』編纂のサポートをしていきたい。</p> <p>第6に、上記の第5は、視点を換えれば伝承者としての高齢者との懇談会でもあるわけで、「社会教育の推進を図る活動」ともなり得るし、地域の世代間交流の役割を果たしたい。</p> <p>第7に、「学術、文化、芸術の振興の振興を図る活動」、「まちづくりの推進を図る活動」、さらに「環境の保全を図る活動」として、『郷土史(誌)』などの作成計画があれば、<郷土のことわざ>にみる地域の生活文化に関する調査質問項目を加えていただけるように広報し、協力していく。なお、質問票はすでに作成できているが、随時修正しながら精密にしていきたい。</p> <p>第8に、「日本ことわざ文化学会」(本NPO法人理事長が学会の現会長)のネットワークやその他の広報活動を通して、<郷土のことわざ>文献資料蒐集調査の必要性を説明し、具体的には各地の民俗学・郷土史家、小中高の教職員、図書館司書、地元の自治会会長、老人会長、婦人会長、青年会長、その他できれば小中高の児童、生徒、さらに新聞社や博物館、郷土史料館などの有志に賛同をいただき、協力を得たいと考えている。こうした過程において、農山漁村又は中山間地域の「経済活動の活性化を図る活動」、「社会教育の推進」を図りたい。</p> <p>なお、一般に<ことわざ>は「男尊女卑」とされる成句が多いと言われています。しかし、一つの成句に対してほとんどの句に類句が存在すると共に、実はその反句も多くあります。類句と反句を集合させて、全体の意味、用例などを分析すると、けして「男尊女卑」などではなく、実は「男女共同参画社会の形成の促進を図る活動」に寄与できるものです。あらゆる場面や機会にこうした具体事例を提示し、多くの方に新たなことわざ観を持っていただきたいと考えます。また、「都道府県又は指定都市の条例で定める活動」に関しても積極的に取り組んでいきます。</p>
				全国老人クラブ連合会、郷土史家、民俗学者、地方の出版社、新聞社、都道府県立図書館、市区町村立図書館、大学や博物館の図書館との連携を考えている。	本NPO法人、理事・監事、社員40名を中心に蒸気機関などと共に活動を始める。「日本ことわざ文化学会」会員にも協力していただく。		
			学外委員			1982年4月～1983年3月、文化庁『日本民俗文化地図・北海道』作成委員	

所属	氏名	研究分野	活動	地域	参加単位	活動時期	詳細
文学部	矢島國雄	博物館学・先史考古学	活動	長野県小県郡長和町	本学の学芸員養成課程、黒耀石研究センター、文学部考古学研究室と協力し、史跡整備とその活用について、必要な調査等を行っているほか、地域文化資源の博物館資料化の一部には、博物館実習を組み込んで、参加学生と合宿での事業展開を行っている。	1986年～現在	旧長門町よりの協力依頼もあり1986年より鷹山地区の遺跡の考古学的調査を明治大学考古学研究室が行ってきた。この中で発見された縄文時代の黒耀石採掘遺跡が史跡指定され、現地に博物館が設置されたことから、史跡整備や博物館の運営に関して考古学研究室のみならず学芸員養成課程も協力するところとなった。本学は旧長門町、現長和町と社会連携の協定を結び、黒耀石を中心とした研究拠点としての本学の黒耀石研究センターを整備し、学術的な協力を進めるとともに、考古学的な調査、地域文化資源の博物館資料化、史跡の整備と活用などへの協力を推進している。また、社会連携事業として本学への町の中学生の一日大学生の受け入れ等が行われている。
				茨城県ひたちなか市	大塚初重名誉教授、故小林三郎教授、佐々木憲一専任教授、忽那敬三明治大学博物館学芸員とともに参画	1987年～現在	史跡虎塚壁画古墳の保存と公開を中心に、市内の史跡や考古学的遺跡の保護・活用に学術的な立場から協力する。 史跡虎塚壁画古墳については、非常にデリケートな保存環境にあるため、旧東京国立文化財研究所、現東京文化財研究所とともに、年2回の公開の前後に継続的な調査と各種の保存上の対処を行って来た。時には本学考古学研究室の協力を得て学生を含む合宿による必要な調査を実施してきた。 史跡馬渡埴輪窯址についての、その保存整備の計画策定にあたってきた。 このほか、十五郎横穴群の史跡化に向けた努力を続けている。
				神奈川県綾瀬市	教員個人の参画であったが、近年の遺跡整備に当たっては石川日出志文学部専任教授にも加わっていただいている	1998年～現在	市内の考古学的遺跡の調査、遺跡の保存と活用への協力。 綾瀬市史編纂から始まり、市内の遺跡の発掘調査への協力、各種文化財の保護、史跡指定された神崎遺跡の保存整備事業への協力と続いている。
			学外委員	1987年～現在 勝田市→ひたちなか市史跡保存対策委員会 1990～1996年 茨城県美浦村陸平貝塚博物館基本構想検討委員会委員 1990～2004年 神奈川県綾瀬市綾瀬市史編集委員会委員 1991～1999年 岡山市立総合歴史博物館基本構想委員会委員 1991～1994年 小田原市博物館基本構想委員会委員 1998年～現在 神奈川県綾瀬市文化財保護委員会委員 2000年～現在 神奈川県横須賀市横須賀市史編集委員会委員 2007年～現在 長野県長和町黒耀石体験ミュージアム運営協議会委員 2011年～現在 神奈川県小田原市小田原城天守閣耐震改修等検討委員会委員 2011年～現在 神奈川県綾瀬市神崎遺跡保存整備計画策定委員会委員 2012～2014年 静岡市歴史文化施設建設検討委員会委員 2012年～現在 長野県長和町「黒耀石のふるさと」創生事業実行委員会委員 2013年～現在 長野県長和町黒耀石体験ミュージアム名誉館長			
文学部	石川日出志	考古学、弥生時代および周辺世界	活動				
			学外委員	<ul style="list-style-type: none"> ・1999～2004年：特別史跡登呂遺跡発掘調査指導委員（静岡市） ・2000～2009年：東京都目黒区文化財保護審議会委員 ・2003～2013年：新潟県文化財保護審議会委員 ・2005年～（現在）：史跡古津八幡山遺跡保存整備検討委員会委員（新潟市） ・2005年～（現在）：東京都板橋区文化財保護審議会委員 ・2005～2009年：文化庁『発掘調査のてびき』作成委員会委員 ・2007年～（現在）：茨城県文化財保護審議会委員 ・2007年～（現在）：東京都北区文化財保護審議会委員 ・2007～2011年：柳沢遺跡調査指導委員会委員（長野県埋蔵文化財センター） ・2008年～（現在）：千葉県市川市史編さん委員会委員 ・2008年～（現在）：文化庁「埋蔵文化財発掘調査等の整備充実に関する調査研究委員会」委員 ・2009年～（現在）：文部科学省文化審議会専門委員 ・2011年～（現在）：神奈川県綾瀬市神崎遺跡保存計画策定委員会委員 ・2012年～（現在）：茨城県常陸大宮市泉坂下遺跡保存委員会委員 ・2012～2013年：史跡瓜郷遺跡保存計画策定委員会委員（愛知県豊橋市） ・2012年～（現在）：耳取遺跡調査指導委員会委員（新潟県見附市） ・2012年～（現在）：神奈川県三浦市赤坂史跡公園整備検討委員会委員 ・2013～2014年：岩手県陸前高田市文化財等保存活用計画策定委員会委員 			

所属	氏名	研究分野	活動	地域	参加単位	活動時期	詳細
文学部	阿部芳郎	考古学	活動	千葉県四街道市	明治大学日本先史文化研究所	2012年～	夏休みに実施している発掘調査期間中に1日で実施し、発掘調査体験と近隣小学校お教室で体験発掘の対象遺跡の概要を説明し、貝製腕輪の製作体験を実施。さらに2013年には大学継続している出土品の分析状況を見学し、一連の調査研究を体験した。これらの継続的な交流の成果については2014年に明治大学博物館において特別展「こどもの見た縄文・科学の観た縄文」と題した展示を実施する予定である。2013年度は文部科学省の「ひらめき・ときめきサイエンス」に採択され、この予算で実施した。(千葉県四街道市教育委員会)
				千葉県銚子市教育委員会	明治大学日本先史文化研究所	2012年～	銚子市内には日本屈指の縄文時代貝輪生産遺跡である余山貝塚が所在する。この遺跡の重要性を地域住民に周知するために地元教育委員会と共同で、地域の小学生を対象にして、子供貝輪作り体験教室を実施している。初年度は地元の銚子ジオパーク構想の一環として協力し、講演会も実施した。次年度は文部科学省の「ひらめき・ときめきサイエンス」に採択され、この予算で実施した。
			学外委員	2008年～現在 2011年～現在 2012年～現在	東京都杉並区文化財審議委員 新潟県十日町市笹山遺跡保存整備委員会 国立歴史民俗博物館共同研究委員		
文学部	高野和子	教師教育 教育行政学	活動				
			学外委員	2011年10月～2014年3月 千代田区教育委員会 「点検及び評価に関する有識者」			
文学部	佐々木憲一	古墳時代考古学・国家形成過程論	活動	奈良県明日香村・橿原市；長野市；茨城県内の複数の自治体	(奈良県明日香村および橿原市文化財担当部局との連携) 授業「考古学実習I」でフィールドワーク	2011年～	2年生を引率し、明日香村内、橿原市内の6～7世紀築造の、石舞台古墳・高松塚古墳など日本史の教科書に取り上げられるような横穴式石室古墳を見学する。見学に際しては、本学OBで明日香村教育委員会文化財担当主任技師の高橋浩二さんに案内を毎年お願いしている。
				長野県長野市、茨城県内の複数の自治体で古墳の調査を実施している	私個人で調査するが、文学部考古学専攻生がフィールドワーク、出土遺物の整理(これは駿河台校舎で実施)に参加する	長野市の古墳の調査成果を報告書にまとめる作業は2001年以来継続的に駿河台校舎で実施(フィールドワークは1984～1996)。茨城県内の古墳の調査も2001年以来、夏休み、春休み期間中に現地で行った。	長野市:大室古墳群出土資料の整理、図化、報告書の執筆編集 茨城県内:小美玉市、石岡市、かすみがうら市、行方市内の古墳の測量調査、若干の発掘調査
			学外委員	2003年～現在:長野市史跡大室古墳群保存整備委員会委員 2007年～現在:茨城県ひたちなか市虎塚古墳保存整備委員会委員 2003年～現在:奈良市所在の公益財団法人 寧楽美術館・依水園 評議員			
文学部	平川景子	社会教育、学習支援者の力量形成	活動	神奈川県川崎市	社会教育主事課程「社会教育課題研究」、学部間共通総合講座「登戸探求プロジェクトⅡ」の1年間の授業	2012年～	多摩市民館と連携し、多摩区校長会の協力を得て、小学4～6年生に呼びかけている。段ボールハウスづくり、おもちゃづくり、登戸テレビ局など、子どもたちと学生が相談して、年間を通じて一つのプロジェクトに取り組む。資格課程の授業として、学生がコミュニティを知り就業力を培うことをめざしている。
			学外委員	2012年～ 川崎市多摩市民館運営委員			
文学部	杉山光信	社会学(とくに贈与論)	活動	京都府綾部市	ゼミナールでの活動(文学部現代社会学専攻の必修授業「学外実習」をゼミ単位で行っている)	最近7年間、毎年行っている。	活動を行ったのは、綾部市西部・北部で、そのうち志賀郷、白道路では村の伝説(七不思議)のあとをたどり、イベントの可能性を考えた。白道路ではミニ・八十八ヶ所巡礼の整備、村祭りで芝居をするなどの参加。
			学外委員				
文学部	落合弘樹	幕末・維新史	活動	宮崎県延岡市			明治大学博物館所蔵旧延岡藩主内藤家文書近代史料の整理と成果報告
			学外委員				

所属	氏名	研究分野	活動	地域	参加単位	活動時期	詳細
文学部	伊藤直樹	思春期・青年期を対象とした学校における適応支援のための実践および研究	活動	東京都千代田区	教員個人で実施するほか、支援員を希望する学生を学校に紹介している。	2007年～現在	発達支援アドバイザーとして、中学校において特別な教育的支援を必要とする生徒への支援を学校の先生、保護者と相談しながら進めている。そのほか、学校からの要請に応じて、支援員を希望する教職課程履修学生を紹介し、学校現場で学生に対して、指導・助言を行っている。
				東京都世田谷区 NPO法人T&E企画	教員個人。ゼミの学生を対象に現場体験の機会を設けたこともある。	1989年～1994年 2000年～現在	思春期・青年期の精神障害をもった若者の社会復帰を支援するための作業所の開設及び運営にボランティア、非常勤職員等としてかかわってきた。現在は、NPO法人の理事として、運営にかかわっている。
			学外委員	2008年4月～2009年3月 千代田区発達支援・特別支援教育推進協議会委員 2002年4月～2005年3月 埼玉県大里郡花園町家庭教育アドバイザー 2014年4月～ 千代田区立神田一橋中学校健全育成サポートチームメンバー			
文学部	佐藤英二	数学教育の歴史的研究を中心とする教育方法学研究	活動	東京都	教員個人	2007年～	毎年8月の1日ないし2日、都内の公立中高(中等教育学校、特別支援学校を含む)の数学科教員に、授業作りの研修をおこなってきました。単に私が講義をするだけでなく、皆で教員を作ったりするワークショップの形を取ってきました。
			学外委員				
文学部	大畑裕嗣		活動	埼玉県川口市			3年ゼミの実習活動の一環として「B級グルメフェスティバル」などまちづくりイベントへの協力、来場者・住民に対する調査
			学外委員				
文学部	加藤尚子	臨床心理学、コミュニティ心理学、子育て支援、児童虐待の治療、防止	活動	東京都	教員個人で参加	2006年から現在	東京都の児童福祉に関わる諸課題について審議、提言。特に子育て支援、児童虐待対応について専門的に審議している。
				東京都杉並区	教員個人で活動	2005年から現在	杉並区子育て支援課・子ども家庭支援センターの事業である「巡回型ケースカンファレンス」事業においてスーパーバイザーとして巡回相談を行っている。保育園、学童保育、小中学校などを訪問し、地域の子育てに関する問題や児童虐待への対応について、助言を行っている。
			学外委員	2006年～東京都児童福祉審議会 委員(現在に至る) 2009年～東京都福祉サービス評価推進機構 評価・研究委員会 委員(現在に至る) 2009年 葛飾区子育て支援行動計画策定委員会 委員			
文学部	山崎健司	日本古代文学・萬葉集	活動	熊本県	現在は教員個人で調査	2001年～現在	熊本県文化課との共同研究(文化財指定の社会的効果)ー熊本県立大学地域貢献研究事業(2004年～2006年) 宇城市文化課からの受託研究(国指定史跡小田良古墳の保護活用に関する調査研究)(2007年)
				奈良県	教員個人で調査	1989年～現在	萬葉歌が詠まれた環境の調査研究
				富山県高岡市周辺	教員個人で調査	2004年～現在	萬葉歌が詠まれた環境の調査研究
			福岡県・佐賀県・長崎県				
学外委員	2007年度 天草市文化振興審議会委員 2009年度 大学基準協会大学評価分科会評価委員 2011年度 熊本県「夢」教育サポーター						
文学部	野尻泰弘	近世日本の地域史研究	活動	福井県福井市	教員個人での参加	2014年～	福井県立歴史博物館において、県内外の研究者・学芸員とともに、近世・近代の史料(古文書)の目録作成にあたっている。
				東京都町田市	教員個人および有志の学生	2014年～	町田市立自由民権資料館において、学芸員とともに町田市域の近世・近代史料(古文書)の整理にあたっている。
			学外委員				
文学部	山下達也	教育史	活動				
			学外委員	2012年2月～ 国立教育政策研究所 教育課程の編成に関する基礎的研究委員 2012年4月～2013年3月 教員の資質向上長崎県連絡協議会委員			

所属	氏名	研究分野	活動	地域	参加単位	活動時期	詳細	
理工学部	宮腰哲雄	有機合成化学、天然物化学、材料化学	活動	神奈川県川崎市、福島県会津若松市	理工学部応用化学科宮腰研究室	5年間継続して活動している	漆と金属加工を組み合わせ、また漆による蒔絵技法による加飾で、新しい生活用品を作る産・官・学の研究開発プロジェクト	
				沖縄県浦添市 浦添市美術館との連携	特定課題研究ユニット「バイオ資源化学研究所」、大型研究：戦略的研究基盤形成事業プロジェクト	5年間毎年「琉球の漆文化と科学」の講演会を浦添市美術館で開催している。内容：琉球漆器の科学分析と評価	琉球漆器の科学分析と評価を研究課題にして、沖縄県浦添市の浦添市美術館と連携して、「琉球の漆文化と科学」の講演会を開催している。これは日本の漆文化とアジアの漆文化のつながりを考え、また歴史的な輸出漆器との関わりを究明する研究である。	
			学外委員	2010年～ 漆サミット実行委員会会長				
理工学部	室田明彦	天然物を用いる機能性物質の探索	活動	モンゴル国ウランバートル市(モンゴル科学技術大学)	和洋女子大学と共に教員個人で	2006年5月以後定期的に実施。2013年JICAへ予算申請	モンゴル国における学校給食関係者の人材育成とネットワーク形成による給食メニューの普及	
			学外委員					
理工学部	山本俊哉	建築・都市計画、まちづくり、安全学	活動	岩手県陸前高田市	都市計画研究室として仮設住宅居住者意向調査、居住環境調査およびそれに係る提言、情報発信の各種支援	2011年から毎年8月に法政大学等との共同調査チームで大規模な調査を実施するとともに研究室として独自に調査を実施。	応急仮設住宅の居住の実態と意向を把握して、関係行政機関等に提言するため、約50カ所・約2000戸の仮設住宅を調査を定期的に行い、Webサイトやマスコミ等を通じて情報発信している。	
				広田地区集団移転協議会・田谷地区集団移転協議会・要谷地区集団移転協議会との連携	都市計画研究室として意向調査、地形模型、住宅再建相談、復興まちづくりワークショップ準備運営等の各種支援	各集団移転協議会からの依頼を受け、2011年8月から今日まで毎月1回程度現地訪問して継続実施	住民の高台移転の意向をとりまとめて住宅再建を図るため、現地の地形模型を作成・提供し、関連制度の学習会やワークショップにより復興まちづくりマスタープランやモデル住宅建設を進め、復興の先行事例として評価されている。	
				千葉県市川市	都市計画研究室および子ども安全まちづくりパートナーズとして、JST「計画的な防犯まちづくりの支援システム構築」研究開発プロジェクトとして調査等各種支援	市川市からの依頼およびJST研究開発プロジェクト採択に伴い2008年から継続してまちづくりを支援している。	曾谷小学校区の市街地模型の作成、子ども参画の安全点検ワークショップ、アンケートの調査、それらの成果を掲載したWebサイト(http://soya.kodomo-anzen.org)を構築し、マイタウンマップコンクールの実行委員会奨励賞を受賞した。	
				陸前高田市で他3件、千葉県市川市で他1件の活動報告有				
			学外委員	2005年～市川市建築審査委員 2009年～市川市建築物の高さの最高限度に関する検討委員 2013年～市川市新庁舎建設設計選考委員				
理工学部	田中友章	建築計画・建築設計・敷地計画(地域資源を活かしたまちづくり、その中での敷地を超えた地域の中での施設の配置計画・空間構成などの研究)	活動	神奈川県川崎市	教員個人での参画が基本しつつも、機会があれば研究室で活動への参加や専門的支援を実施	1999年ごろより川崎市市内各所で実施。	・大学の設計演習課題を基点とした、区や地域のまちづくりとの連携 ・大学の専門的知見や技術を活用した区や地域のまちづくりへの支援 ・地域での市民団体やNPOのまちづくりの取組みや活動への参加(具体的には先日MEDIA GUIDEの取材を受けたのでそちらを参照のこと)	
				川崎市幸区、高津区、宮前区、多摩区の各区企画課・地域振興課、NPOぐらすかわさきなどとの連携				
			学外委員	2000年～2011年 川崎市住宅政策審議会委員 2003年～2005年 川崎市都市計画マスタープラン多摩区構想検討委員会委員(副委員長) 2006年～現在 府中市 都市景観審議会 委員(2008年～改組により 景観審議会委員、2012年～副会長、2014年～会長) 2008年～現在 川崎市高津区「エコシティたかつ」推進会議委員 2010年～現在 川崎市幸区夢見ヶ崎公園検討協議会委員長 2010年～現在 東京都景観審議会計画部会専門委員 2010年～現在 渋谷駅中心地区デザイン会議委員				

所属	氏名	研究分野	活動	地域	参加単位	活動時期	詳細
理工学部	松岡太一	ダンピング, ダンパ, 制振, 免震, 耐震, 波力発電, 鉄道	活動				
			学外委員	2012年～ 日本機械学会ダンピング研究会幹事 2013年～ アメリカ機械学会圧力容器配管部門技術委員 国家公務員採用総合職試験 試験専門委員			
理工学部	安井幸夫	物理学・固体物性物理学	活動	神奈川県川崎市	明治大学の生田ボランティアセンターで、教員企画によるボランティア活動	2013年～現在に至る	明治大学の生田ボランティアセンターにおいて、教員企画としてボランティア学生を募集し、川崎市青少年科学館主催の科学教室や川崎市主催の科学教室に、学生を引率する。学生は参加する子供達に科学教室を行う。
			学外委員				
理工学部	田村誠邦	建築・都市の再生とマネジメント	活動	陸前高田市広田町	山本俊哉研究室と共同で研究室として参加	2011年7月以降毎年	昨年は、応急仮設住居者に対する住宅再建の相談会を延2日間にわたり実施した。
			活動	川崎市多摩区西三田団地 川崎市、川崎市住宅供給公社、地元の組織「わなり」と連携	園田真理子教授とともに、川崎市住宅供給公社を主契約者とする研究グループで国交省の調査を受託	2013年度より3年間の予定	西三田団地を対象に既存住宅の空家問題の実態把握、既存住宅の流通に向けての施策を検討する。2013年度はその初年度として、西三田団地のアンケート調査等を実施した。
			学外委員	2011年～川崎市住宅政策審議会委員			
農学部	輿水肇	都市緑化・都市緑地の保全と創出への計画課題、と技術課題	活動	千葉県 浦安市	教員個人で調査		市の緑の実態調査
			学外委員	2008年～ 東京都環境影響評価審議会委員 2001年～ 新宿区緑推進審議会委員 2001年～ 鎌倉市緑政策審議会委員			
農学部	廣政幸生	食料・環境政策	活動	山形県遊佐町	研究室学生によるフィールド調査実習	毎年実施	集落調査
			学外委員	2013年～ 天童市都市計画マスタープラン策定有識者委員			
農学部	倉本直	緑地学	活動	神奈川県川崎市麻生区黒川	ゼミ(応用植物生態学)	2005年から	農場を拠点に自然生態園の運営など自然と文化について学び発信している。
			活動	川崎市役所緑政部	ゼミ(応用植物生態学)及び授業(農学実験)	7年間ほぼ毎月	農場周辺の自然と文化の調査, 農家の指導による水田管理, 特別緑地保全地区の調査
			活動	川崎市役所生田緑地整備事務所	教員個人	2013年から	自然会議会長
学外委員	2012年～2014年 目黒区生物多様性地域戦略策定委員 2010年～ 茅ヶ崎市みどり審議委員 2002年～2013年 川崎市生田緑地 植生管理協議会会長 自然会議会長						
農学部	池上彰英	農業経済学	活動	岩手県遠野市	研究室所属の3年生全員	2011年～2013年; 2014年度以降も継続予定	3泊4日の日程で、遠野市綾織町第1区(新里地区)において、3年生のフィールド調査実習を実施。地区の公民館に宿泊。新里営農組合における座談会、組合員農家における農作業体験、地区住民との交流会、地区の活動(地区を貫通する国道両側への花の植栽)への参加、近隣農村調査等。
			学外委員				
農学部	澁谷直人	植物免疫、糖鎖生物学	活動				
			学外委員	2004年～現在 神奈川県科学技術会議研究推進委員会委員 2008年～現在 神奈川県試験研究機関・機関評価委員会およびフォローアップ会議委員 2011年 神奈川県農業技術センター 農林水産技術会議委員			

所属	氏名	研究分野	活動	地域	参加単位	活動時期	詳細
農学部	本所靖博	研究分野:会計学・農業経済学, 研究テーマ1:大学・大学生の地域連携活動による地域活性化と地域貢献, 研究テーマ2:教養としての簿記の研究	活動	青森県西目屋村	連携キーパーソンとしてマネジメント部会に参加, ゼミの有志でインターンシップ企画のための調査, 村民との祭りでの協働に参加, 農業インターンシップの企画・運営サポート, 教員個人としても調査, 情コミ川島ゼミと協働。	2012年～現在(5年計画の2年目で2016年まで連携予定)	2012年10月 マネジメント部会に参加 2012年11月 次年度の農業インターン企画のための実地調査 2013年 2月 次年度の地域づくりインターン企画のために乳穂々滝氷祭りに村民と協働参画。村の教育委員会と協働して明治塾の開催。 2013年 3月 マネジメント部会に参加 2013年 5月 農業インターン生を学部内で募集 2013年 6月 全国定住政策のデスクリサーチ報告会 2013年 8月 農業インターン1回目実施, 村民ヒアリング調査実施 2013年 9月 農業インターン2回目実施, 村民ヒアリング調査実施 2014年 3月 マネジメント部会参加
				川崎市多摩区, 登戸東通り商店会, かわさきFM, 登戸小学校, NPO法人ぐらすかわさき, 多摩区地域振興課, 多摩区まちづくり協議会など	ゼミや政策学科の学生有志で地域の各種行事に企画・運営の中心メンバーとして参加, ラジオ番組の生放送, 学生まちなか研究室(寺子屋事業)の運営, 弁当作り(食育)支援など	2009年～現在	2009年～現在 ・商店街ののぼりとわくわくナイトバザールの企画・運営 2010年～現在 ・かわさきFMでラジオ番組の生放送 2011年 ・多摩区地域振興課と「わく多摩」の企画・運営 2010年～2012年 ・商店街, 登戸小学校と「弁当の日」プロジェクトの企画・運営支援 2012年～現在 ・商店街と「学生まちなか研究室(寺子屋事業)」の運営 ※多摩区3大学連携事業として実施
				麻生区	本所ゼミ有志や政策学科学生有志の予定	2014年～	明治大学(黒川農場)と麻生区の連携事業の一環で, 麻生区役所企画課と市民団体「かわさきかえるプロジェクト」と協働して, 地域コミュニティ農園づくりを目指して, 菜の花プロジェクトに参加し始めました。
				(1)2013年10月より川崎市工業振興課の取次で, 川崎市中央卸売市場北部市場にある株式会社西久さんと, 食育をテーマにした「魚食推進プロジェクト」で商品開発を開始。現在, 有志学生で新商品のアイデアを検討中。 (2)政策学科2年生の授業科目「ファームステイ研修」で福島県喜多方市・北塩原村を担当。2003年より11年目に突入。大震災時の風評被害時にも継続。政策学科では約10地域で毎年お世話になっている, 生明祭では各地の農産物を販売するなど交流が続いている。			
			学外委員	2010年～ 川崎市民間活用推進委員会委員 2012年～ かながわ商店街大賞審査委員 2012年～ 西目屋村担い手育成総合支援協議会マネジメント部会連携キーパーソン			
農学部	登尾浩助	土壌中と接地気層中のエネルギーと物質移動の測定とモデリング	活動	福島県相馬郡飯舘村	研究グループで調査	2011年～継続中	農家個人でも実施可能な除染法の開発や表土剥ぎ取り除染後の水田における有機物分解に伴う温室効果ガス発生量測定グループに参画して現地で活動しています。
			活動	神奈川県農業技術センター	教員個人が連携先研究者と共同で調査	2006年～2012年	熱水土壤消毒時の土壌中の水分と熱移動および温室効果ガスの発生と移動に関する調査
			学外委員				
農学部	池田敬	省力・省エネルギーを目指した都市近郊型農業システムの開発・確立、都市近郊地域向け完全人工光型植物工場の農商工連携によるモデル研究、環境ストレスが植物の生理生態に及ぼす影響に関する研究	活動	群馬県嬬恋村	ゼミ合宿の実施(3回)、教員個人で調査	2007年から現在に至る	策定委員会出席、ゼミ合宿、現地農家訪問、現地NPO法人会議出席など
			学外委員				

所属	氏名	研究分野	活動	地域	参加単位	活動時期	詳細
農学部	服部俊宏	農村計画学	活動	福島県飯舘村(福島市内仮設住宅)	研究室での調査・交流, ボランティアセンターで交流	2012年度から毎年	避難者の発災前生活記録, 帰村・営農再開条件の解析を調査すると共に, 仮設住宅としての帰村計画策定を支援。また, 学生と仮設住宅入居者間の交流(お年寄りから昔からの手仕事の技を教えていただく)を実施。
				青森県上北郡横浜町 NPO法人菜の花トラストin横浜町	教員個人の調査・助言指導, 研究室で調査	明治大学着任(2010年度)以前より継続	菜の花景観保全のための地域住民の活動に対し, 研究対象として調査に入ると共に, 活動に関する助言指導を実施。2010~2012年度にはゼミ合宿としてNPOの活動を体験。
				青森県三沢市 北三沢地区コミュニティ活性化協議会	教員個人で調査・助言指導, 研究室で調査	2010年度より毎年	北三沢地区の持続可能な地域づくりのために, 地域住民主体の活動組織の助言指導を担当。同時に, 活動に対する卒論調査も実施。
				青森県三沢市 北三沢地区環境公共推進協議会 岩手県陸前高田市 小友地区水利組合 岩手県陸前高田市 広田半島営農組合 福島県相馬郡飯舘村農業者・松川第一仮設住宅自治会 富山県中新川郡立山町			
学外委員		2010年~ 北三沢地区環境公共推進協議会 2010年~ 北三沢地区コミュニティ活性化推進協議会					
農学部	藤原俊六郎	資源リサイクル	活動	川崎市	黒川農場として参加	2013年~2015年	川崎市は、各家庭における生ごみの減量対策として「ダンボール箱コンポスト」の方法を普及している。明治大学と川崎市が協働し、明治大学黒川農場においてダンボール箱コンポストの品質分析とコンポストを活用した農作物の展示栽培を行なっている。また、成果は11月に開催される黒川農場収穫祭において市民や近隣農家を対象とした発表会を行っている。
			学外委員		2014年4月~ 川崎市環境審議会委員 2011年7月~ 川崎市ごみ減量対策市民会議座長 2014年2月 川崎市ごみ減量コンテスト委員		

所属	氏名	研究分野	活動	地域	参加単位	活動時期	詳細
農学部	元木悟	野菜の生産現場を意識した安定生産技術の確立を中心に研究を進めています	活動	岩手県大槌町(現地実証圃場生産者)および北上市(岩手県農業研究センター)、秋田県横手市(横手市実験農場および生産者)、広島県庄原市(県立広島大学)、神奈川県川崎市(川崎市農業振興センター)	研究室として講習会および研修会の実施、学生および教員で調査、研究機関や生産現場と試験打ち合わせ、など	2013年4月～2018年3月(プロジェクトの予算化の時期)	2014年2月 川崎市農業振興センター主催の「新世代ファーマー育成研修」でソバージュ栽培を学生および教員が紹介(神奈川県川崎市) 2014年1月 平成25年度実績検討会および平成26年度試験設計会議、生産者との意見交換(岩手県北上市) 2013年10月 平成25年度中間検討会、生産者との意見交換(岩手県北上市および大槌町) 2013年8月 岩手県大槌町および北上市、秋田県横手市、神奈川県川崎市のそれぞれの地域で調査および指導、研修、情報交換 2013年8月 岩手県大槌町および北上市、秋田県横手市、広島県庄原市、神奈川県川崎市のそれぞれの地域で調査および指導、研修、情報交換 2013年8月 野菜園芸学研究室およびメーカー主催の「フィールドデー・トマトのソバージュ講習会」で学生および教員が紹介 2013年6月 平成25年度試験設計会議、生産者との意見交換(岩手県北上市および陸前高田市) 2013年～2014年 ほかに、1年を通じて、共同研究者と試験研究打ち合わせや成績、研修会の打ち合わせなどをメールや文書を使って実施してきた。研究成果については、学会報告を行っている(4報)。
				群馬県沼田市において、アスパラガス篤農家および農研機構、メーカーなどとの共同研究(連携)	研究室として講習会に参加(講師)、学生および教員で調査、研究機関や生産現場と試験打ち合わせ、など	2013年～	2014年3月 JA利根沼田主催の「アスパラガス栽培講習会」で新栽培法を教員が紹介(群馬県利根郡昭和村) 2013年3月、4月、6月、8月、11月 アスパラガスの生産現場(群馬県沼田市、篤農家の現地実証圃場)において、定植から調査を共同研究者と実施してきた。研究成果については、学会報告を行っている。
				長野県飯山市(JA北信州みゆき)および長野市(イトウ精麦株式会社)において、平成25年度「緑と水の環境技術革命プロジェクト事業」(事業化調査事業)実用化調査研究委員会委員として活動	委員会に委員(助言者)として出席、学生および教員で調査、など	2013年～2014年	2014年3月 第3回緑と水の環境革命プロジェクト事業検討委員会(長野県飯山市) 2014年1月 第2回緑と水の環境革命プロジェクト事業検討委員会打ち合わせ(東京都世田谷区、日本農業大学) 2013年9月 第1回緑と水の環境革命プロジェクト事業検討委員会(長野県飯山市)
			長野県小諸市、東御市および上田市(オタネニンジン生産者) 静岡県磐田市(アスパラガス生産者および赤ビート生産者) 神奈川県川崎市(川崎市農業振興センターおよびのらぼう菜生産者、万福寺ニンジン生産者)				
学外委員			2013年 神奈川県 平成25年度農林水産技術会議研究成果「ライフスタイルの変化に対応したコンパクトネギの商品開発と春夏季安定生産技術の確立」評価部会 評価委員 2013年～2014年 平成25年度「緑と水の環境技術革命プロジェクト事業」(事業化調査事業)実用化調査研究委員会委員 2013年～ 日本農業技術検定協会 日本農業技術検定試験問題検討委員(1級) 2009年10月～2012年3月 農林水産省 新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業「寒冷地特性を活用し国産アスパラガスの周年供給を実現する高収益生産システムの確立」外部評価委員 1998年4月～2001年3月 第10回国際アスパラガスシンポジウム組織委員会				

所属	氏名	研究分野	活動	地域	参加単位	活動時期	詳細
経営学部	岡田浩一	中小企業論	活動				
			学外委員	2007年～ 経済産業省「中小企業IT経営力大賞」選考作業部会長 2010年～ 千代田区商工振興基本計画検討委員会委員長 2012年～ 千代田区商工振興連絡調整会義座長			
経営学部	藤江昌嗣	地域統計学、パフォーマンスマネジメント、自治体財政分析、地域デザイン	活動	北海道北見市	フィールドスタディ、ゼミ合宿等の実施	2011年～ 毎年実施	北見市、北見ハッカ通商(株)との連携。和製ハッカ等を利用した地域ブランド製品の開発、地域活性化事業
			活動	奈良県桜井市 うるわしの桜井をつくる会、NPO三輪座	MOSマネジメント・オブ・サスティナビリティ研究所	2011年以降毎年実施	三輪座との連携では、地域ブランドづくりを含む地域デザイン
			学外委員	2011年～2012 府中市総合計画審議会委員 2011年～ 春日部市公共事業評価委員会委員 2013年～ 府中市文化センターあり方検討協議会委員			
経営学部	菊地端夫	行政学、地方自治論、公共政策論	活動	長野県小布施町	毎年学生とフィールドスタディを実施。町長(役場)、セーラ氏等を訪問し毎年報告書を作成	2009年以降	毎年学生とフィールドスタディを実施。町長(役場)、セーラ氏等を訪問し毎年報告書を作成
			学外委員	20012年～杉並区行政経営懇談会委員 2012年～千葉市資産経営推進委員会委員 2013年～堺市行革推進有識者会議構成員 他多数			
情報コミュニケーション学部	ハウス、ジェームス		活動	千葉県浦安市	教員個人	2011-2013	Weekly 90 minutes class in Advanced English on Current topics for UIFA [Urayasu International Friendship Association]
				千葉県浦安市	教員個人	2011.9.20	Special Lecture on “Internationalization and Urayasu” for Urayasu Shimin Diagaku
				Last Hero Productions	教員の法人	2008-現在に至る	A video app of Charles Dickens’ “A Christmas Carol” (James House plays Scrooge) for Last Hero Productions
			学外委員				
情報コミュニケーション学部	川島高峰	政治学	活動	青森県西目屋村	ゼミ・西目屋班が参加、村の広報の支援活動。詳しくは設問11を参考に	2012年～現在まで	1 ゼミで農業インターンシップの企画広報を担当 2 村の方と協力して青森朝日放送の「ふるさと自慢わがまちCM大賞」に作品を作成応募した(2013)。 3 村に関するドキュメンタリー作品を作成。上映会を大学祭、和泉図書館ホール、ホームカミングデーなどで実施、100名以上の集客を得た。 4 現在、村のプロモーションビデオを製作中
				福島県	ゼミの福島班、詳しくは設問16を参照	2007年～現在	1 震災復興を主題としたドキュメンタリーを2011年以降、毎年、一本、製作してきた(2011＝郡山・相馬・被災者避難先の山梨他、2012＝郡山市、2013＝新地町)。上映会を大学祭、和泉図書館ホール、ホームカミングデーなどで実施、100名以上の集客を得た。 2 福島放送ふるさとCM作成し、北塩原村と連携して2009年以降、毎年、作品を提出している。 3 2012年、2013年は福島県知事室直轄広報室より委託事業として福島県の広報の支援活動をゼミで実施している。
				南魚沼市	教員個人	2014年～	南魚沼市地域活性化フレームワーク・IGLOVEと連携した地域間交流事業のプログラムのコーディネートを行っている。
			学外委員	西目屋村地域経営担い手育成マネジメント部会委員(2012～)			

所属	氏名	研究分野	活動	地域	参加単位	活動時期	詳細
情報コミュニケーション学部	波照間永子	舞踊学	活動	千代田区神保町周辺地域	ゼミナール単位(3・4年合同)	神田すずらん祭り(毎年5月末)、神保町ブックフェスティバル(毎年10月末～11月初旬)	神保町地域・神保町応援隊と連携 ・神田すずらん祭り:前日の会場設営アシスト、ステージにてパフォーマンス(ダンス等)を上演 ・神保町のブックフェスティバル(ボランティア参加:交通整理・ゴミ収集・案内等)
				千代田区西神田児童センター・高齢者センター、駿河台周辺地域の商店街	ゼミナール単位(3・4年合同)	年1回(準備期間 半年)	・千代田区西神田児童センターと高齢者センターの協力を得て、世代間交流イベントを実施。2013年度は西神田児童センターにて影絵遊びによる交流と影絵劇を上演した。 ・神保町の個性豊かな店舗やスポットを紹介するフリーペーパーを作成・配布。 ・「本を愛する町、神保町」という映像を制作し、総務省関東総合通信局と関東ICT推進NPO連絡協議会が主催する「わがまちCMコンテスト2013」の最終選考作品の1つに選出された。
			学外委員				
情報コミュニケーション学部	鈴木健	説得コミュニケーション論	活動				
			学外委員	1998年～2006年 茨城県藤代町情報公開審査委員 2003年～2012年(2006年度は除く) (財)大阪府市町村振興協会マッセOSAKA「ディベート研修」講師 2007年～現在 茨城県取手市情報公開審査委員			
情報コミュニケーション学部	中里裕美	社会学	活動	富山県立山町	3年生ゼミナールの1グループ(5、6名程度)	現地調査(例年8月～9月頃実施)、『インカレコンペ』への参加(12月)	富山県立山町のインターカレッジコンペティション(2012年度、2013年度)への参加。(2012年度には入賞をいたしました。)
			学外委員				
情報コミュニケーション学部	南後由和	社会学、都市・建築論	活動	東京都中野区	「情報コミュニケーション学」の集中講義	2013年	2013年に明治大学・中野キャンパスがオープンした中野区では、従来の行政に限らない「新しい公共」の担い手として、大学、企業、NPOなどによる地域活動の広がりが期待されている。そこで「情報コミュニケーション学」の集中講義では、理工学研究科建築学専攻とも共働し、中野区に関する白書・統計データの分析、中野区役所や地域団体などへのヒアリング、街路や建築物のフィールドワークなどをとどに、中野区の公共空間が抱える問題を発掘し、インフォグラフィックスを用いて可視化した。そのうえで、中野区の「新しい公共」の担い手や空間のヴィジョンを提案した。 本講義では、中野区役所の方々に中野区のまちづくりの歴史と現在に関する講義および学生からのヒアリングへのご協力をお願いし、講評会には中野区長と副参事にご参加いただいた。
			学外委員				
国際日本学部	吉田悦志	幕末から明治期の文芸	活動	鳥取県鳥取市	明治大学社会連携事務室関連	自治体、大学の依頼(不定期)	市民／学生にむけて地域文化についての講義を展開
				千葉県成田市	社会連携事務室関連	自治体、大学の依頼(不定期)	成田市民向け「地域課程」講義もしくは受講生論文指導
			学外委員				
国際日本学部	渡浩一	日本文化史	活動	奈良県大和郡山形市・五條市	教員個人で調査(人文研個人研究)	2012年度・1013年度人文研個人研究。大和郡山形市矢田寺の矢田地蔵の信仰・縁起説話の研究は35年くらい前から継続している。	「欲参り」関係および五條市笠辻地蔵の縁起伝説関係の文献・絵画資料の博捜・調査(寺院・図書館・博物館等)
				長野県須坂市・飯田市	教員個人で調査(特定個人研究)	2013年度9月(須坂市)・3月(飯田市)に調査を実施	地元で伝わる「孝子善之丞感得絵伝」の調査(同種の絵伝に関する人文研紀要に発表した拙稿が機縁となって須坂市の市史編纂室より調査依頼があり、また、それが機縁となって飯田市の同種の絵伝も地元の博物館学芸員の協力で調査できることになった)。
			学外委員				

所属	氏名	研究分野	活動	地域	参加単位	活動時期	詳細
国際日本学部	山脇啓造	多文化共生、移民政策	活動	東京都中野区	ゼミで中野区の調査を実施。授業(国際実践科目)で多文化共生フォーラムを主催。2011	2013年度。	中野区政策室や中野区国際交流協会と連携して、ゼミで中野区内の外国人に関する実態調査を実施。国際実践科目で多文化共生フォーラムを実施し、中野区や国際交流関係者など地域の方々が100名ほど参加。フォーラムでの学生の提言をもとに、現在、学生有志が、区、国際交流協会、中野区観光協会と連携して、留学生のための中野生活ガイドを作成中。また、他の学生有志は、区教育委員会と連携して、地域の外国人の子どものための学習教室の立ち上げを準備中。
				東京都新宿区	ゼミで新宿区の外国人に関する調査を実施。	2010～2011、2013年度	2010～11年度は、新宿区多文化共生課と連携して、ゼミで新宿区の外国人のための生活ガイドの改定作業に参加。外国人の実態調査を行い、その結果をガイド改定に活かした。2013年度は、新宿区多文化共生課と連携して、外国人の実態調査を行い、新宿区の祭りブースを設け、研究発表を行い、最後に新宿区長に政策提言のプレゼンを行った。
				東京都大田区	ゼミで大田区の外国人に対する情報提供のあり方に関する調査研究を行った。	2010～2011年度	大田区の外国人の情報提供のあり方について調査研究を行い、報告書をまとめ、最後に太田区長にプレゼンを行った。
			学外委員	<p>厚生労働省「IT分野の外国人技術者の受入れに関する調査・研究」委員(2001年度)</p> <p>総務省「多文化共生の推進に関する研究会」座長(2005-2006年度)</p> <p>国土交通省「北関東圏における多文化共生の地域づくり検討委員会」委員長(2006年度)</p> <p>外務省「海外交流審議会外国人問題作業部会」委員(2006-2007年度)</p> <p>法務省「出入国管理政策懇談会在留管理専門部会」委員(2007年度)</p> <p>文部科学省「初等中等教育における外国人児童生徒教育の充実のための検討会協力者」(2007-2008年度)</p> <p>総務省「多文化共生の推進に関する意見交換会」座長(2009年度)</p> <p>内閣府「定住外国人施策の現状と課題に関する有識者ヒアリング」(2009年度)</p> <p>文部科学省「定住外国人の子どもの教育等に関する政策懇談会」委員(2009年度)</p> <p>川崎市「国際協力のあり方」研究委員(1996年度)</p> <p>東京都「地域国際化セミナー」企画委員(1999年度)</p> <p>浜松市「世界都市化ビジョン策定ワーキンググループ」指導員(2000年度)</p> <p>立川市「国際化推進委員会」委員長(2000年度)</p> <p>東京都国際交流委員会「国際化市民フォーラム in TOKYO」企画委員(2003年度)</p> <p>外国人集住都市会議アドバイザー(2004年度-現在)</p> <p>自治体国際化協会「地域国際化協会課題研究会」委員(2004年度)</p> <p>岐阜県国際センター「在住外国人との共生社会検討委員会」座長(2004年度)</p> <p>自治体国際化協会「地域における多文化共生事業促進委員会」委員(2005年度)</p> <p>東京都足立区「多文化共生推進計画策定懇談会」会長(2005年度)</p> <p>宮城県「多文化共生推進条例策定懇談会」座長(2005-2006年度)</p> <p>群馬県「多文化共生指針策定委員会」委員長(2006年度)</p> <p>東京都「地域国際化推進委員会」委員長(2006-2009年度)</p> <p>上田市「外国籍市民支援会議」アドバイザー(2006-2009年度)</p> <p>愛知県「多文化共生推進プラン検討会議」座長(2007年度)</p> <p>新宿区立大久保小学校学校評議員(2008年度-現在)</p> <p>東京都大田区多文化共生実態調査支援委員(2009年度)</p> <p>愛知県「多文化共生推進プラン中間評価有識者会議」座長(2010年度)</p> <p>自治体国際化協会「多文化共生事業事例集作成アドバイザー」(2010-2011年度)</p> <p>東京都新宿区「多文化共生連絡会」ファシリテータ(2010-2011年度)</p> <p>東京都新宿区「外国にルーツを持つ子どもの実態調査」検討委員(2011年度)</p> <p>東京都大田区「多文化共生推進協議会」会長(2011年度)</p> <p>新宿区多文化共生まちづくり会議委員(2012年度-現在)</p>			
活動	石川県 かほく市	教員個人	十数年来、館の依頼で不定期に参加	石川県、かほく市、石川県西田幾多郎記念哲学館において市民講座講師・シンポジウムのパネリスト等として行事に参加			
学外委員							
国際日本学部	美濃部仁	哲学・宗教学	活動	石川県 かほく市	教員個人	十数年来、館の依頼で不定期に参加	石川県、かほく市、石川県西田幾多郎記念哲学館において市民講座講師・シンポジウムのパネリスト等として行事に参加

所属	氏名	研究分野	活動	地域	参加単位	活動時期	詳細
国際日本学部	尾関直子	英語教育、応用言語学	活動	愛知県、山梨県	教員個人	2013年12月～2016年3月	「多様な学習成果の評価手法に関する調査研究」に係る委員(惟新高校の研究への助言、指導をしている)
				山梨県教育委員会	教員個人	2013年～2015年	タスク活動を取り入れた授業設計の指導(山梨県の全高等学校英語教員を指導している)
			学外委員	愛知県教育委員会「多様な学習成果の評価手法に関する調査研究」に係る委員(2013年12月～2016年3月) 文部科学省外国語教育における「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標設定委員会委員(2012年8月～現在) 文部科学省日本人若手英語教員米国派遣に係る業務委託選定委員会委員(2011年3月～2012年3月) 英語教員の海外派遣に関する研修プログラム作成委員会委員(独立行政法人教員研修センター)(2010年1月～3月) 文部科学省初等中等教育局 英語教育改善のための調査研究委員(2009年3月～2010年3月) 文部科学省初等中等教育局 学習指導要領改善等に関する調査研究協力者(2007年9月～2010年3月) 文部科学省初等中等教育局 スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクールの研究開発に関する企画評価会議協力者(2006年4月～2009年3月)			
国際日本学部	鈴木賢志	比較制度論、社会心理学。主に日本と北欧諸国の比較	活動	地域は特定できません。	ゼミ	2012年～現在	スウェーデン社会研究所において毎月開催される「スウェーデン研究講座」の1つとして、毎年2月にゼミ生の卒業研究を発表している。聴衆は、スウェーデン社会研究所の会員および一般の人々で、例年70名程度が参加している。
				スウェーデン ポットシルカ市	ゼミ	2010年～現在	ポットシルカ市内にあるトンバ高校で毎年開催される交流イベント「Japandagen」(日本の日)にゲストとして毎年参加し、日本の文化・社会に関するプレゼンテーションや、同校の高校生たちとの交流会を実施している。なお同校から毎年4月に派遣される日本研修に参加し、スウェーデン高校生の都内散策のサポートも行っている(ちなみに本研修の一環として行われている短期高校留学の受け入れ先として、2011年に2名、明治高等学校を紹介。本年2014年も3名の受け入れがすでに決定している。
			学外委員				
国際日本学部	横田雅弘	異文化間教育としてのまちづくり、留学生政策、偏見低減の実践教育	活動	東京都中野区	「まちづくり教育論」でイベント「中野さんぽ」実施、ゼミが中野区イベント等に協力	2012年～現在(2013年度の中野キャンパス開校以降実質的に活動)	国際日本学部で開講する授業「まちづくり教育論」にて中野研究を行い、毎回中野のゲストを招いている。学生が中野区と協力し、新入生向け中野紹介イベント『中野さんぽ』、白鷺町会と協力して子どものための夏の勉強会やクリスマス会、氷川神社NUNOジャズフェスに出店や警備で協力。 ゼミのイベント「ヒューマンライブラリー」開催のために中野区と連携。にぎわいフェスタ等で学生がボランティアとして協力。
				東京都国立市	個人として任意団体「くにたち地域国際交流会」会長、授業「まちづくり」(一橋大学)担当、NPO法人くにたち富士見台人間環境キーステーション理事等	1988年～2008年	国立市とは、1988年に国立公民館と協力して地域の外国人支援の任意団体を設立し、その会長となって以来長年の連携あり。特に、一橋大学在籍時に担当した授業「まちづくり」が平成16年度特色GPIに選定され、授業からサークルやNPOを多数立ち上げて、高齢化した富士見台団地に学生が中心となって4店舗を経営(至現在)、音楽祭の開催、自転車共有実験等活発に活動してきた。
			学外委員	1988年5月～1997年3月くにたち地域国際交流会会長 1988年8月～1990年7月国立市公民館運営審議会委員 1989年4月～2002年3月(財)くにたち文化・スポーツ振興財団評議員 2005年4月～2007年3月国立市社会教育委員 2009年8月～2013年8月異文化間教育学会理事長			
国際日本学部	姫野伴子	日本語学・日本語教育	活動				
			学外委員	2008年～2012年 2006年～2007年 2006年～2007年	埼玉県多文化共生推進会議委員 埼玉県多文化共生検討委員会委員長 財団法人埼玉県国際交流協会評議員		
国際日本学部	宮本大人	漫画・アニメの歴史的研究	活動	福岡県北九州市	教員個人	2007年～継続中	前任校(北九州市立大学)では基本コンセプトの検討に参加するとともに、設立準備段階のプレイベントの企画・実施などに学生ボランティアグループとともに参加。 現在は教員個人で施設の運営全般へのアドバイス、イベントの司会等。
			学外委員	2011年～2013年 川崎市市民ミュージアム資料等収集委員会委員 2011年～継続 豊島区文学・マンガ資料等選定委員会委員 2007年(仮称)北九州市漫画ミュージアム基本コンセプト検討委員 2012年～継続 北九州市漫画ミュージアム研究アドバイザー			

所属	氏名	研究分野	活動	地域	参加単位	活動時期	詳細
国際日本学部	岸磨貴子	教育工学	活動	中国 広州市	研究グループによる調査、実践	2012年～2014年	華南師範大学と連携し、中国広州市の小学校を対象に思考力育成のためのカリキュラム開発の共同研究を実施している。本研究チームは、日本国内において「思考力・表現力」を重視したカリキュラム開発に取り組んできた。近年、中国でも同様に「思考力・表現力」に焦点を当てた教育が実践されるようになり、日本の教育研究および実践の知見を中国においてどう活用できるかについて、華南師範大学と実践研究を行っている。具体的には、広州市の小学校教員に対して研修を実施し、思考力育成のための授業実践を支援している。この実践研究をもとにカリキュラムを開発している。
				インド ビハール州 ブッダガヤ NPO 法人Niranjana Public Welfare Trustと連携	研究グループで実践	2011年～現在に至る (2014年)	NPO法人Niranjana Public Welfare Trustと連携し、ブッダガヤの学校の教育支援を2011年から3年間継続的に支援している。具体的には、年に1度現地で教員研修を実施したり、教師をめざす日本人学生による教材開発を実施している。
				大阪府高槻市 関 西大学初等部	教員個人で調査	2010年～2014年	関西大学初等部の異文化理解教育を支援している。具体的には、関大初等部の児童がインドの小学校とインターネットを通して交流し、共にグローバルイシューについて学び、問題解決に向けた具体的な活動を起こすことを支援している。
				(1)神奈川県川崎市 2013年～2014年 川崎市立平小学校との連携 川崎市立平小学校は、情報教育のカリキュラム開発の研究を学校単位で行っており、この取り組みに対して、月1回の授業研究に参加し、情報提供やアドバイスをを行った。2014年1月の公開研究授業では、パネルディスカッションに登壇し、平小学校の研究の取り組みを評価、報告した。 (2)フィリピン ミンダナオ島 バトバト村 2013年～2014年 NGO法人House of Joy(フィリピン)との連携 フィリピンで孤児院を運営しているNGO法人House of Joyの活動支援を行っている。具体的には、国際協力をめざす学生のフィールドワークを引率し、House of Joyの紹介ビデオ制作をしたり、日本人学生がICTを活用してhouse of joyと協働できるような支援を行っている。 (3)ヨルダン アンマン市 2014年～ 現地NGO/NPO法人(たとえば、Syrian Woman Associationなど) ヨルダンのシリア難民の支援のため、5つの現地NGO/NPOを連携し、プロジェクトを形成した。日本人学生と現地NGO/NPOをインターネットでつなぎ、情報情報、意見交換、議論するなどICTを活用した国際協力支援を行っている。 (4)大阪府高槻市 NPO法人学習創造フォーラムとの連携 2012年～2014年 バングラディッシュの少数民族の伝統保全のための支援活動を行っている。具体的には、バングラディッシュの少数民族マニプリ族の伝統保全のため、言語や文化の継承をどのように実践するかについて (5)セネガル 2014年～ セネガルのサレギレール保健ポスト、サレギレールの青年団(and dafa saréguille)と連携したプロジェクト活動を実施している。現地の人が健康な生活を送るために、住民に普段の自分の行動を見直してもらいイベントを日本の大学生が支援するという取り組みである。異文化間の協働を円滑に進めるための評価および助言を行っている。			
総合数理学部	福地健太郎	ヒューマンコンピュータインタラクション・エンタテインメントコンピューティング	活動	東京都中野区、東京建物	研究室から展示協力および理科教室の開講	2013年度～	夏休み理科教室を地域小中学生向けに開講。 中野区と東京建物が連携して行っている街イベントに定期的に展示協力。
			学外委員				
専門職大学院 ガバナンス 研究科	佐々木一如	公共政策・防災政策・危機管理論	活動	茨城県鹿嶋市	教員個人で参加	2012年～2014年	2012年度には、同市における自治会・町内会単位の防災マニュアルシートの作成に係った 2013年度には、同市における地区公民館防災マニュアルシート及び家庭版防災ノートの作成に係った (平成25年:文部科学省 公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム)
			学外委員				

所属	氏名	研究分野	活動	地域	参加単位	活動時期	詳細
専門職大学院 会計専門職 研究科	吉村孝司	企業の遺伝子型 経営と企業変革 に関する研究	活動	東京都町田市 日 本聾話学校との連 携	研究科学生(大学院生)と共 同による実施	2013年～2014年	日本聾話学校中学部2年生の生徒を対象とした経営学および会計学に関する社会教室の実施(所属研究科 大学院生との共同による教材開発と授業の実施)。
				東京都千代田区 リハビリアカデ ミー講座の一環と しての経営学講座	教員個人として実施	2009年～2013年	本学リハビリアカデミー講座の一環としての経営学講座の実施
				東京都立川市のN PO法人エンジェ ル・サポートとの連 携	研究科学生(大学院生)と共 同による実施	2013年	NPO法人エンジェル・サポートとの連携による児童養護施設の高校生に対する社会講座の実施
			・東京都千代田区 所属研究科としての全国の小学生を対象とした夏休み期間における社会教室の実施				
			学外 委員	1996年～1998年 1996年～1998年 2000年～2002年 2003年～現在 2009年～現在	新潟県教育委員会「ウーマンカレッジ(柏崎)」実行委員 新潟県生涯学習審議会委員 柏崎地域広域行政圏計画審議会委員 総務省行政懇談会委員 国土交通省企画競争有識者委員会委員		
専門職大学院 会計専門職 研究科	池上健	社会的弱者と租 税法	活動	東京都立川市	教員個人及び学生有志によ る参画	2013年	立川市を本拠とするNPO法人「エンジェルサポートセンター」は、主に多摩地区の児童養護施設等に在籍す る高校生等の自立を支援する団体である。 この団体は、毎年、児童養護施設を「巣立つ」高校生を対象とした一連のセミナーを開催して、こうした子ど も達が社会で自立して生活できるような知識等を身に付けるべく指導を行っているところ、当該研修会に会計 専門職研究科在籍の学生有志を指導して参加し、学生を講師として、大学で学ぶことの意味やお金の使い方 の重要性についての研修を実施したものである。
			学外 委員				
法科大学院	今村哲也	行政法 地方自 治法 警察法 オーストリア公法	活動	神奈川県横浜・横 須賀・小田原市等			行政審議会委員としての行政法的知見の供与
			学外 委員	1995年～横須賀市個人情報保護専門委員(規則制度) 2005年～横浜市本人確認等個人情報保護審議会 1998年～小田原市行政手続審査会			
研究・知財 戦略機構	小野昭	考古学	活動	長野県長和町	教員個人で調査、研究室や研 究グループで調査	10年間毎年実施して いる	長和町ふるさと祭り、学校への講義などの支援、黒曜石の分布調査及び発掘調査への支援
			学外 委員	2012年～現在 長野県文化財審議会 2003年～現在 新潟県長岡市馬高三十稲場遺跡整備委員会			
研究・知財 戦略機構	清水潔	高等教育論	活動	京都府の北部地域	京都府北部地域	2013～	京都工芸繊維大学顧問として京都府、京都市との連携活動、とりわけ京都市や京都府北部地域(京丹後市 など丹後地方の市町)と「京都の産業・文化拠点形成」を①研究成果の地域への還元 ②K16プロジェクト(小中高大の16年間を見通した体系的カリキュラムによる工学系人材の育成)などを実 施。各部会委員会とそれを裏打ちする学内プロジェクトが特徴。
				石川県加賀市	教育懇談会において小中学 校の統合、高等学校の再編 成について研究	2013年度、市長の 交代に伴い中断	教育委員会メンバーとともに加賀市における中・長期の児童生徒の動向に応じた 学校の在り方について意見交換
			学外 委員	京都工芸繊維大学 顧問 福島大学 経営協議会 委員 東京工業大学 経営協議会 委員 滋賀医科大学 経営協議会 委員 加賀市教育委員会 教育懇談会 委員			

所属	氏名	研究分野	活動	地域	参加単位	活動時期	詳細
国際連携機構	黒崎典子	日本語教育学	活動	宮城県塩釜市・多賀城市	日本語教育センター 日本語短期研修プログラムで実施	2012年度より、7月、2月の年2回実施	東日本大震災被災地支援の一環として、当該プログラムに参加する留学生が自国から絵本を持参し、幼稚園へ寄付しています。その際、日本語の授業内で被災者へのはげましのメッセージと絵本のあらすじを日本語で書く学習を行い、絵本と一緒に送っています。
			学外委員				
国際連携機構	ソラ陽子	国際関係、国際政治経済学	活動	兵庫県神戸市	授業科目：ソリューションアプローチE(模擬国連 総合演習系)(2014年度新設)で、フィールドワークとして参加	2014年度初参加。模擬国連大会は毎年6月に開催。	英語で開催される国内の模擬国連大会Japan University English Model United Nations (JUEMUN)への参加を、2014年度に新設する授業のフィールドワークとして組み込む。
			学外委員				